

不祥事防止への取り組み

取手市立藤代南中学校

校長 堀田 将寿

教職員による不祥事は、県民の学校教育への信頼を著しく低下させる原因となっており、なんとしても根絶しなければなりません。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

- 1 不祥事根絶をテーマとした職員参加型の校内研修を定期的実施しています。

不祥事は、わいせつ、セクハラ、体罰、公金の不適切な処理、飲酒運転、情報漏洩、交通事故等々多岐にわたります。これらの各事案について、コンプライアンス遵守のための定期的な研修計画を作成し、職員会議の中で研修を行っています。法律の理解や事例の検討など、職員が防止マニュアルを作成し、ボトムアップ式の研修を取り入れることで年齢に関係なく話し合えるようにしています。

- 2 各不祥事ごとにチェックリストを作成し、職員が定期的点検をしています。

不祥事の原因は何か。また、自分の行動や意識に問題は無いか等を明確に把握する必要があります。これらを職員が自分自身でチェックし自己啓発をすることが重要です。また、職員同士でお互いの言動を確かめ合い違和感が無いように話し合っています。

- 3 不祥事関連の通知文や記事等を利用し様々な事例を職員全体で共有するとともに、研修内容について学校運営協議会で報告をします。

不祥事の内容と対象職員の処分内容等について県教委や市教委からの通知文や記事等から、それを職員が自分自身や自校の問題に置き換えて考えた具体的な防止策等を学校運営協議会に報告し外部の意見を取り入れられるようにしています。

- 4 管理職による職員との個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行っています。

職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないよう、管理職が人事評価の面談や日頃の面談を通して、解決法を助言したり相談にのるなどきめ細かに職員を支援をしています。また、悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しの良い職場風土をつくって参ります。

チーム藤南として藤代南中学校の職場全体で協調し、今後も全職員が一丸となって不祥事根絶に取り組めます。また、自分の学校から不祥事が起きないよう職員一人一人と連携し、信頼できる学校づくりに努めて参ります。